

日本海水学会第 64 年会シンポジウム

「食と環境の放射性物質 ー測定分析と除染ー」

主 催：日本海水学会・分析科学研究会

共 済：(公財) ソルト・サイエンス研究財団

開催日時：平成 25 年 6 月 7 日（金）13:30~17:00

開催場所：山梨県立図書館多目的ホール

シンポジウムの趣旨

東日本大震災による津波によって引き起こされた福島第一原子力発電所の爆発事故による放射性物質の放散は、生活環境や食環境に甚大な影響を及ぼした。事故から 2 年が経過し、事態は収束の方向に向かっているように感じられるものの、漠然とした不安から起こる風評被害などは依然として根強く残っている。放射性物質に関する科学的な知識は、私たちが放射性物質に対し冷静に対応するための拠りどころとなる。本シンポジウムでは海水関係を中心に据えながら、さらに視野を広げて“食と環境”に関わる放射性物質について、測定や除染といった観点からその現状を考える。本シンポジウムは、一般市民の方も参加できる公開講座とする

プログラム

13:30~13:35 開会あいさつ 山梨大学名誉教授 山根 兵

13:35~17:00 講演

(1) 「放射性物質の基礎知識と食の安全について」

(独)日本原子力研究開発機構研究主席 小林泰彦

(2) 「塩と塩の原料である海水の放射線量測定」

(財)塩事業センター 海水総合研究所主任研究員 野田 寧

休憩 (15:05~15:20)

(3) 「福島県沿岸の放射性物質の測定と対応ーいわき明星大学の取り組みー」

いわき明星大学 佐藤健二

(4) 「磁力を用いた水溶液中の放射性セシウムの分離技術の開発」

JNC 石油化学株 大西徳幸